

技術と経済・2009 年 年間総目次

右の①～⑫は月号、数字はページです。

●特集

◆自由と規律

「自由と規律の両立への挑戦」に基づく住友スリーエム（3M）の技術経営……………大久保孝俊・① 3
次世代型街工場の情報化……………山本 昌作・① 20

◆新しい社会技術とメンテナンスコンセプト

安全安心のための社会技術……………堀井 秀之・② 2
ライフサイクルを考慮したメンテナンス管理と効果評価……………高田 祥三・② 18

◆技術経営を深掘りする

古河電工の技術転化と企業価値の創造……………石原 廣司・③ 2

◆イノベーション志向経営（IOM）

高い目標を達成するイノベーション志向経営（IOM）の展開……………篠塚 勝正・④ 2

◆新しい技術が生み出すサービスとパワー

NGN 時代に向けて～サービス創造グループを目指した NTT の取り組み……………宇治 則孝・⑤ 2
世界初 新免震構造パーシャルフロートの開発と事業化に向けて……………矢代 嘉郎・⑤ 17
微生物の大きな力、発酵パワー……………小泉 武夫・⑤ 27

◆産学官連携の現状と今後のあり方

産学官連携の現状と今後のあり方……………相澤 益男・⑥ 2

◆米国の政策・経済動向と我が国の産業

米国の政策・経済動向と我が国産業のあり方～経済危機の中で考える～……………阪田 渉 ・⑦ 2

◆金融危機と経営構造改革

コマツの経営構造改革～強みを磨き、弱みを改革～……………坂根 正弘・⑧ 2
国際金融・国際経済動向……………藤井 英彦・⑧ 13

◆環境に資する技術戦略

地球温暖化防止と電気二重層キャパシタの国際戦略……………内 秀則・⑨ 2
低炭素社会に向けた新しい車社会の実現—電気自動車の開発を中心として……………橋本 昌憲・⑨ 13
わが国の産業競争力を支える工業材料・資源戦略……………原田 幸明・⑨ 22

◆知の構造化によるイノベーションの昂進

知の構造化によるイノベーションの昂進……………松島 克守・⑩ 2

◆社会と共に歩む経営

社会と共に歩む経営……………戸田 一雄・⑪ 2

◆金融危機後の日本型イノベーション経営を探る（I）

三菱電機の技術経営—シナジーとイノベーション……………久間 和生・⑫ 2
金融危機以降の日本への示唆……………安部 忠彦・⑫ 17

●寄稿・投稿・インタビュー・特別講演録

高磁場化する現代社会における一課題～生体に及ぼす磁場の影響について～	那須 裕規/佐藤 建吉	⑤ 44
新たなグローバル時代における“科学技術政策の科学”	三森八重子	⑥ 16
世界的同時不況下におけるタイ進出日系企業の経営実態をみる	藤原 弘	⑥ 25
製造会社を伸ばす研究員と技術者の自律化	今村 哲也/山本 親慶/草原 仁美	⑥ 30
世界的同時不況下での台湾の半導体メーカー Macronix 社の経営戦略	藤原 弘	⑧ 28
我が国のこれからの宇宙産業	立川 敬二	⑩ 14

●シリーズ・連載・講演録他

◆経営から見た IT リスクマネジメント専門委員会活動報告

概括報告	広崎 膨太郎	① 61
先端技術研究サブグループ	笠原 裕	② 56
ネットワーク研究サブグループ	熊高 信治	③ 48
バックアップデータセンター研究サブグループ	山口 真人	④ 44

◆アジアの創業事情	増田 辰弘	
福州市で中国事業を再起動させたユニフォームの山本被服		① 44
パンダマークの天津甘栗で中国の免税店を席巻させたマスマグループ		② 36
中国天津で日本酒を醸造し、中国全土に販売する中谷酒造		③ 27
絶不調の台湾経済で次のチャンスを窺う液晶ガラス研磨のニッソー		④ 18
長期の景気の低迷とライフスタイルの変化で揺れる中国の石の産地		⑤ 31
アジアの新興企業の成長モデルを提示する WKK		⑥ 22
中国深圳で創業し奇跡的な成功を収めた仕事師		⑦ 20
日中間の物流戦争を知略で勝ち抜く中国物流会社		⑧ 25
難しい中国市場参入をコンサルティングする凌空行企業経営		⑨ 32
金融危機後の日本企業のアジアビジネス戦略（上）		⑩ 26
金融危機後の日本企業のアジアビジネス戦略（下）		⑪ 20
シームレスステンレスチューブ&パイプを瀋陽で製造する三京物産		⑫ 40

◆発明文化論	丸山 亮	
たばこの文化史		① 43
東寺と空海		② 35
雪舟		③ 15
民芸の系譜		④ 17
歴史的建築の保存		⑤ 43
知的財産の集約化		⑥ 39
著作権とモラル		⑦ 23
裁判と進化		⑧ 45
国語とデータベース		⑨ 53
後を引く知的財産権		⑩ 13
技術の復元		⑪ 11
景観の発見から創造へ		⑫ 23

◆海と地球の女性研究者	海洋研究開発機構	
海洋研究開発機構へようこそ	和田 幸子	① 27
私の研究—北極海の海水減少から地球を知ること	小木 雅世	② 62
昔の気候を想うには	大垣内るみ	③ 55
地球温暖化問題と雲と私	對馬 洋子	④ 43
研究と子育ての両立をめざして	近本めぐみ	⑤ 53
地震断層を追いかけて	木戸ゆかり	⑥ 28
いつも心に「ひょっこりひょうたん島」	五十嵐智秋	⑦ 49
蒸発—熱と水のかかわり	徐 健青	⑧ 53

Misfit but not Loser	千葉 早苗	・⑨ 35
次世代大気モデリングの夢	那須野智江	・⑩ 25
風の道を辿って	長島 佳奈	・⑪ 19
感動の連続	阿部なつ江	・⑫ 38

◆未来工研コーナー

四川汶川大地震の初期対応について（評価と課題）	高田 浩司	・① 68
情報セキュリティに関する個人・家庭向けのリスクコミュニケーション環境構築	笠井 祥	・② 64
イノベーション過程を把握する—研究開発と社会・産業との連関を観る	上野 元治	・③ 56
「変化」の進行—国際金融経済危機化での我が国の中長期対応	稗田 浩雄	・④ 55
研究に用いる特許権の取り扱いについて	諸橋 勝栄	・⑤ 54
転換期を迎えた日本経済	川島 啓	・⑥ 45
東京一極集中が招く少子化問題	山田 健智	・⑦ 50
住宅情報化の進展状況と今後の展望	片瀬 和子	・⑧ 46
都市型洪水対策の現状と水資源の有効利用について	中村 秀人	・⑨ 42
遺伝子組換え食品の誤解と理解	和田 雄志	・⑩ 44
消費者の食生活における健康維持とアンチエイジングの位置づけ	上野 伸子	・⑪ 46
社会問題の解決に向けたイノベーション	田原敬一郎	・⑫ 47

◆日本 MOT 学会による査読論文

内発的モチベーションの知識創造行動への効果	堀江 常稔／犬塚 篤／井川 康夫	・① 67
非連続イノベーションにおける社内企業家活動	石井 正道／馬場 靖憲	・⑥ 49
知識スピルオーバーから見た日米多国籍企業における中国への進出戦略の比較	劉 建宏／七丈 直弘	・⑦ 54
企業間における特許請求の範囲の記載の定量的差異	安彦 元／田中 義敏	・⑨ 46
日本企業が抱えるモノづくりに関する課題と今後の MOT 教育のあり方	澤口 学	・⑩ 48

◆技経会コーナー（講演録）

米国サブプライムローンの動向と為替市場への影響	倉部 康行	・① 47
自治体再生のビジネスチャンス	根本 祐二	・② 34
創業 100 周年、ブラザー工業の更なる挑戦	神谷 純	・⑦ 34
科学技術の新たな動向について	広瀬 研吉	・⑧ 30
EIRMA 活動報告	広崎 太郎	・⑩ 35
イノベーション力を強化する産業技術政策の在り方について	岡田 武	・⑪ 30

◆明経会講演録

巨大都市江戸の構造と庶民の暮らし	竹内 誠	・② 27
オープンイノベーション時代における研究開発戦略と人材育成	永島 晃	・③ 18

◆技術競争戦略研究会講演録

燃料電池車の最近の開発動向と今後の課題	大仲 英巳	・① 30
サブプライム問題に負けない日本のものづくり	橋本 久義	・② 39
世界トップブランドのジーンズメーカーに生地を納入	貝原 良治	・② 49
超精密なユーザーニーズへの徹底対応	山口 修司	・③ 30
日本唯一のコンクリート防食の専門メーカー	佐藤 武司	・③ 39
中小企業の経営課題と望まれる経営の考え方	坂本 光司	・④ 21
国有技術にこだわった物造り	金綱 伸光	・④ 30
超小型 IC チップ「ミューチップ」の製品化の苦しみ	宇佐美光雄	・④ 38
世界初 7 種のメカニカル継手で衰退からの脱出をはかる	東尾 光紹	・⑦ 24
超精密ばねのモノ作りと品質管理の考え方	小松 節子	・⑩ 30
人工衛星に夢を託して、航空宇宙を地場産業に	青木 豊彦	・⑪ 12
プロペラ製造から見たモノづくりの未来	中島 基善	・⑫ 30

◆メンテ研コーナー

神田川水系の現状と対策	白土 博資	・⑥ 40
-------------------	-------	-------

都市ガス供給・防災システムとメンテナンスの取り組みについて	淵 昌彦	⑨ 36
設備老朽化への取り組みと設備信頼性の向上	高橋 義政	⑪ 24
地震防災技術とモニタリング	長島 一郎	⑫ 24

◆ JATES コーナー

新年のご挨拶	金井 務	① 2
イノベーションに対する報奨に関する比較調査	太田健一郎	⑥ 60
第 43 回通常総会議事模様		⑧ 54
韓国 KOITA 第 16 回技術経営人夏季特別セミナー概要	太田健一郎	⑨ 54
技術経営会議第 71 回本会議事模様		⑪ 50
BSAC 東京会議について	太田健一郎	⑪ 54
JATES・KOITA 共催「日韓交流技術経営シンポジウム」開催模様	鈴木 康之	⑫ 43

● 書評

ジャパנקールと情報革命	田子島一郎	① 72
ハダカデバネズミ	大谷 卓史	① 73
間違いだらけの経済政策	田子島一郎	② 73
心の脳科学—「わたし」は脳から生まれる—	田子島一郎	③ 60
描かれた技術 科学のかたち サイエンス・イコロジーの世界	大谷 卓史	③ 61
グローバル恐慌—金融暴走時代の果てに—	田子島一郎	④ 59
精神科医は腹の底で何を考えているか	田子島一郎	⑤ 58
進化倫理学入門—「利己的」なのが結局、正しい—	田子島一郎	⑥ 59
経済成長という病—退化に生きる我ら—	田子島一郎	⑧ 66
合意形成の倫理学	大谷 卓史	⑧ 67
カーボンフットプリント	大竹 公一	⑧ 68
日本の子どもの自尊感情はなぜ低いのか	田子島一郎	⑨ 58
美女の骨格—名画に隠された秘密—	大谷 卓史	⑨ 59
日本経済は V 字回復する	大谷 卓史	⑨ 60
世代間連帯	田子島一郎	⑩ 58
暴走するセキュリティ	大谷 卓史	⑩ 59
排出取引—現場と発展を守る経済システムとは—	田子島一郎	⑪ 57
インターネットが死ぬ日	大谷 卓史	⑪ 58
「ふるさと」の発想…地方の力を活かす	長森美津夫	⑪ 59
非社会性の心理学—なぜ日本人は壊れたのか—	田子島一郎	⑫ 55
思考停止社会—「遵守」に蝕まれる日本—	大谷 卓史	⑫ 56
開発チーム革新を成功に導くインパクト・メソッド	長森美津夫	⑫ 57

▶ 上記記事掲載誌は 1 冊 500 円で販売しています。

お求め、お問合せは、科学技術と経済の会 総括部 井上までお気軽にご連絡下さい。

電話 03-3263-5501 FAX 03-3263-5504 E-MAIL inoue@jates.or.jp

今年も 1 年間ご購読頂き、誠にありがとうございました。

これからも皆様のお役に立てる紙面づくりに鋭意努力していく所存です。

どうぞ来年もよろしくお願ひ致します。

「技術と経済」編集部